

慣用句・ことわざ・故事成語

新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

												呉	虎	駒	猿
												ゴ	と ら	こ ま	さ る エン
												呉	虎	駒	猿
												呉	虎	駒	猿
												ヽ	ヽ	ヽ	ヽ
												④ 呉越同舟 <small>仲の悪い者同士が一所にいる。または、共通の目的で協力することの意味。</small> （ごえつどうしゆう）	③ 虎穴に入らずんば <small>危険なことを行わないと成功できないことの例え。 虎子を得ず</small> （こけつ）	② ひょうたんから駒が出る <small>意外なところから意外なものが出ることの例え。 冗談半分だが事実だと思ってしまったり、などの場合にもあっている。</small> （こま）	① 猿も木から落ちる <small>どんな人々も失敗することがあるという例え。油断することもあるという戒め。</small> （さる）

## 慣用句・ことわざ・故事成語

教科書に登場する漢字の読み

① 腕を磨く	(	みが	く)	①7 ピリオドを打つ	(	う	つ)
② 腕を上げる	(	あ	げる)	①8 肩の荷が下りる	(	かた	)
③ 腕が鳴る	(	な	る)	①9 息をのむ	(	いき	)
④ 慣用句	(	かんようく	)	②0 故事成語	(	こじせいご	)
⑤ 頭が下がる	(	あたま	)	②1 熟練の技術	(	じゅくれん	)
⑥ 彼の行動力に敬服する	(	けいふく	)	②2 背水の陣	(	はいすい	)
⑦ 胸を張る	(	むね	)	②3 もう後戻りできない	(	あともど	り)
⑧ 親しげな態度	(	たいど	)	②4 覚悟を決める	(	かくご	)
⑨ 心に刻む	(	きざ	む)	②5 温故知新	(	おんこ	)
⑩ 棚を上げる	(	たな	)	②6 孔子の言葉の論語	(	ろんご	)
⑪ 襟を正す	(	えり	)	②7 昔の事柄に学ぶ	(	ことがら	)
⑫ 気持ちを引き締める	(	し	める)	②8 灯台下暗し	(	もと	)
⑬ 真面目な言い	(	まじめ	)	②9 誤解を招く	(	まね	く)
⑭ すずめの涙	(	なみだ	)	③0 人に遠慮する	(	えんりよ	)
⑮ 花を持たせる	(	はな	)	③1 季節は巡る	(	めぐ	る)
⑯ 手柄を譲る	(	ゆず	る)	③2 不快に思う	(	ふかい	)

送り仮名を意識して読みを ( ) に書きましよう。

責任を果たし終える。

はっと驚いて思わず息を止める。

## 慣用句・ことわざ・故事成語

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

												④ ぐえつどうしゅう (呉越同舟)	③ こけつ <small>に入ら<sub>じ</sub>ずんば 虎子を得ず</small>	② ひょうたんからこまが出る	① さこる も木から落ちる
②⑩ 手柄をゆずる	①⑨ はな を持たせる	①⑧ すずめのなみだ	①⑦ まじめ な行い	①⑥ 気持ちを引きしめる	①⑤ えりを正す	①④ たな に上げる	①③ 心にきざむ	①② 親しげな たいど	①① おね を張る	①⑩ 彼の行動力にけいふくする	①⑨ あたま が下がる	①⑧ かんようく	①⑦ 腕がなる	①⑥ 腕をあげる	①⑤ 腕をみがく
( 譲る )	( 花 )	( 涙 )	( 真面目 )	( 締める )	( 襟 )	( 棚 )	( 刻む )	( 態度 )	( 胸 )	( 敬服 )	( 頭 )	( 慣用句 )	( 鳴る )	( 上げる )	( 磨く )

## 慣用句・ことわざ・故事成語

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

①	ピリオドをうつ	( 打つ )	□けんえんの仲	( 犬猿 )
②	かたの荷が下りる	( 肩 )	□とらの子	( 虎 )
③	いきをのむ	( 息 )	□ごふく屋を商う	( 呉服 )
④	こじせいご	( 故事成語 )		
⑤	じゅくれんの技術	( 熟練 )		
⑥	はいすいの陣	( 背水 )		
⑦	もうあともどりできない	( 後戻り )		
⑧	かくごを決める	( 覚悟 )		
⑨	おんこ知新	( 温故 )		
⑩	孔子の言葉のろんご	( 論語 )		
⑪	昔のことがらに学ぶ	( 事柄 )		
⑫	灯台もと暗し	( 下 )		
⑬	誤解をまねく	( 招く )		
⑭	人にえんりよする	( 遠慮 )		
⑮	季節はめぐる	( 巡る )		
⑯	ふかいに思う	( 不快 )		

犬と猿のようないがみ合う仲。仲が悪い例え。